



Information - transactions

総額700億円の事業証券化を組成

2005年11月



ガイア・インベストメントWBS 2005
第1回責任財産限定特約付
無担保社債
 金額：総額700億円
 期間：10年
 2005年11月

ドイツ証券会社東京支店は、株式会社ガイア・インベストメントによる総額700億円の事業の証券化を組成しました。また、ドイツ証券会社は、ガイア・インベストメントWBS 2005(第1回責任財産限定特約付無担保社債)の発行全額を引き受けており、適格機関投資家限定の私募社債として販売しております。本社債は、株式会社ガイア(以下、「ガイア」)に対するリコースローンおよびガイアが運営する31店舗のパチンコホールの事業キャッシュフローを裏付けに発行したものです。

本社債のプライシングは2005年11月25日、払込みは2005年12月1日となります。また、本社債は、スタンダード&プアーズ(S&P)およびムーディーズ・インベスターズ・サービスからそれぞれA、A2の格付けを取得しています。本社債の概要および格付けは次のとおりです。

| クラス | 発行金額 (億円) | 金利 | 最終償還期日 | S&P | ムーディーズ |
|-------|--------------|----|----------|-----|--------|
| A1号社債 | 70 | 固定 | 2015年12月 | A | A2 |
| A2号社債 | 630 | 変動 | 2015年12月 | A | A2 |

本案件は、不動産に全く依拠せずに、ホール運営事業からのキャッシュフローのみを裏付けとする国内初の本格的な事業証券化案件として注目に値する案件となりました。本案件は31の証券化対象店舗の分散効果や店舗の立地条件の良さに加え、裏付けとなる対象店舗全体のパフォーマンスおよびオリジネーターの信用力が悪化した場合に対応して、対象店舗の追加、代替オペレーターを選定・交代といった措置を発動させるためのトリガー事由を緻密に設定することで安定したキャッシュフローを確保するための様々な仕組みが導入されています。さらに、パチンコ業界で豊富な経験を有するマスターサービサーの高い管理能力なども評価され、幅広い国内機関投資家の需要を喚起することができました。本案件は、金融技術を活用し、複雑な仕組みを組成する当社の高い専門能力を存分に発揮できた案件となりました。

ドイツ証券会社は、金銭債権の証券化や不動産の証券化に注力し、日本企業および金融機関の資金調達ならびにバランスシートの改善を支援しています。今後も、ドイツ銀行グループの強い財務基盤とグローバルな資源を積極的に活用することで、顧客ニーズに適した解決策を提供していきます。

